


教科名	理科	科目名	物理	履修学年	中学 <b>高校</b>	3年	2,4,5,7,8,9 組	
単位数	4	使用教科書 補助教材等	第一学習社「高等学校 物理」					
担当者	後藤・松沢・高橋 後藤・松沢・高橋		第一学習社「2026 セミナー 物理基礎+物理」 フォトサイエンス 物理図録(数研出版)					
学習目標	入試問題を解くために必要な基礎学力を定着させ、応用的な問題に取り組むための思考力・解法力を身に着ける。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価基準	高校2年生までに学習した内容を引き継ぐ。電気、磁気、原子と原子核などの教科書の内容を習得する。また、幅広い単元から出題される大学入試の長文問題に対応できる解法力を身に着ける。		演習問題や課題提出することで、思考力・判断力・表現力を身に付ける。大学入試の演習を通して、様々な現象を理解し思考力を深める。		自分の進路に必要な知識と学力を身につけるため、各種の問題に挑戦し解決を試みる。科学的な知識や計算だけでなく、問題の読解力や状況説明出来る文書力をつけ、推薦試験等必要に応じて対応できるようにする。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査 課題提出		定期考査 課題提出			
学期末の 各観点比率(%)	50%		30%		20%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	電流	電流と抵抗 直流回路・半導体		21	中間考査		
	5	電流と磁場	磁場・電流がつくる磁場					
	6	電流と磁場	電流が磁場から受ける力 ローレンツ力		20	期末考査		
	7	電磁誘導と交流	電磁誘導 自己誘導と相互誘導					
8		交流・電磁波 (夏期講習)			中間考査			
2	9	電子と光 原子と原子核	電子・光の粒子性・X線・粒子の波動性 原子の構造 原子核と放射線・核反応とエネルギー		18			
	10	入試問題演習	大学問題演習					
	11	入試問題演習	大学問題演習		22			
	12							
3	1	一般物理学概論	実生活と物理学との関連		10			
	2							
	3							

教科名	理科	科目名	化学演習・自選理科A	履修学年	高校	3年	2,4,5,7,8,9 組				
単位数	4	使用教科書 補助教材等	化学/706 数研出版								
担当者	伊藤 優一 米山 裕		セミナー 化学基礎+化学 第一学習社 フォトサイエンス 化学図録 数研出版								
学習目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。										
評価方法											
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢						
評価規準	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。						
各観点の授業内 評価方法等	定期考査・小テスト		定期考査・課題提出・レポート提出		課題提出						
学期末の 各観点比率(%)	55		30		15						
授業計画											
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2			
1	4	<第4編 有機化合物> 第1章 有機化合物の分類と分析		1. 有機化合物の特徴と分類 2. 有機化合物の分析		21	中間考査				
	5	第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物		1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸 4. エステルと油脂							
	6	第4章 芳香族化合物		1. 芳香族炭化水素 2. フェノール類と芳香族カルボン酸 3. 芳香族アミンとアゾ化合物 4. 有機化合物の分離							
	7										
2	8					20	期末考査				
	9	<第5編 高分子化合物> 第1章 高分子化合物の性質		1. 高分子化合物の構造と性質							
	10	第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物		1. 糖類 2. アミノ酸とタンパク質 3. 核酸 1. 合成繊維 2. 合成樹脂 3. ゴム							
	11	入試問題演習・実験演習									
3	12					22					
	1	探究学習・発表会							10		
	2										
3											

教科名	理科	科目名	生物	履修学年	中学 <b>高校</b>	3年	2,4,5,8,9 組	
単位数	4	使用教科書 補助教材等	高等学校 生物 (第一学習社)					
担当者	市川 麻紀子 水庭 聡一		セミナー 生物基礎+生物 (第一学習社) フォトサイエンス 生物図録(数研出版)					
学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験、課題学習を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価基準	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。		生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。また、文章や図・グラフなどから得られる情報を科学的に分析して思考し、判断している。		生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また、学習の前後での自己の変容を認識している。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査、小テスト		定期考査、レポート		振り返りシート 授業態度			
学期末の 各観点比率(%)	50%		30%		20%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	第9章 第1節 植物と環境 植物の成長と環境応答	第2節 動物の行動	①植物の刺激の受容と情報の伝達 ②種子の発芽と光環境 ③植物の環境応答と成長 ④花芽形成と花の形成 ⑤果実の成長と成熟、落葉・落果	21	中間考査		
	5	第10章 第1節 個体群と生物群集 生態系のしくみと 人間の関わり		①個体群とその特徴 ②個体群の変動と維持 ③個体群内の相互作用 ④個体群間の相互作用 ⑤多様な種が共存するしくみ	20	期末考査		
	6	第2節 生態系の物質生産と消費 第3節 生態系と人間生活		①物質生産 ②物質とエネルギーの移動 ①生態系と生物多様性 ②人間活動と生態系の変化 ③生物多様性の保全とその意義				
	7							
8								
2	9	入試問題演習				18	学年末考査	
	10	↓						
	11					18		
	12							
3	1	探究学習・発表				10		
	2							
	3							

教科名	理科	科目名	自選物理演習	履修学年	中学 <b>高校</b>	3年	2,4,5,7,8,9 組			
単位数	2	使用教科書 補助教材等	各大学の過去の入試問題							
担当者	松沢 俊也									
学習目標	大学入学試験に対応できる力を身につける。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢					
評価基準	力学、電磁気、波動、熱力学、原子の各分野に関して、各大学の過去の入試問題に取り組み、その都度、基礎的な部分も確認しながら、発展的な内容にも対応できる思考力を身につける。		いろいろな分野の問題に挑戦する。また、レベルの違う大学の問題を体験し、幅広い力をつける。		問題が解けなくても挑戦する気持ちが大切である。長い時間考え続けることが出来る力をつけるため、諦めずから難しい問題に挑戦する。					
各観点の授業内 評価方法等	定期考査(9割)		定期考査(1割), 思考問題		定期考査					
学期末の 各観点比率(%)	50%		30%		20%					
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分 1	評価区分 2	
1	4	大学入試問題演習 (力学、電磁気学、波動、熱力学、原子) 					10	中間考査	到達度確認テスト①	
	5									10
	6							10		
	7									
8								中間考査		
2	9							8		
	10									
	11									期末考査
3	12		12							
	1				学年末考査					
3	2		2							
	3									

教科名	理科	科目名	自選理科B化学	履修学年	高校	3年	2,4,5,7,8,9 組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	数研出版：化学重要問題集－化学基礎・化学					
担当者	伊藤 優一							
学習目標	化学基礎・化学の問題演習を行って基礎を定着させるとともに、受験に対応できる応用力の育成をはかる。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	理論化学、無機化学、有機化学の各分野に関して、各大学の過去の入試問題に取り組み、その都度、基礎的な部分も確認しながら、発展的な内容にも対応できる思考力を身につける。		いろいろな分野の問題に挑戦する。また、レベルの違う大学の問題を体験し、幅広い力をつける。		問題が解けなくても挑戦する気持ちが大切である。長い時間考え続けることが出来る力をつけるため、諦めずに自分から難しい問題に挑戦する。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査・授業内演習		定期考査・思考問題		定期考査			
学期末の 各観点比率(%)	55		30		15			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	1. 物質の構成粒子 2. 物質と化学反応式 3. 化学結合と結晶 4. 物質の三態・気体の法則 5. 溶液 6. 化学反応とエネルギー 7. 反応の速さと化学平衡 8. 酸と塩基の反応 9. 酸化・還元と電池・電気分解 10. 非金属元素				11	中間考査	
	5							
	6					12	期末考査	
	7							
8	4							
2	9	11. 金属元素 12. 無機物質の性質・反応 13. 脂肪族化合物 14. 芳香族化合物 15. 有機化合物の構造と性質・反応 16. 天然高分子化合物 17. 合成高分子化合物 18. 巻末補充問題				10	学年末考査	
	10							
	11					9		
	12							
3	1							
	2							
	3							